様式１号
（総括票）

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

１　事業者等の概要

氏名又は名称	国立大学法人信州大学			
代表者名	氏名	中村　宗一郎	役職名	学長
主たる事務所の所在地	長野県松本市旭3-1-1			
主たる事業の分類	大分類	Ｏ 教育、学習支援業		
	中分類	８１ 学校教育		
主たる事業の概要	教育、研究、病院診療			
制度に該当する要件	■	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者		
	□	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者		
	□	条例第12条第1項第2号に該当する事業者		
	□	上記以外（任意提出）の事業者		

		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	15,736	15,264	15,720	16,119	16,530
ｴﾈﾙｷﾞｰ起源二酸化炭素排出量	t-CO_2	31,590		31,566	32,344	33,206
調整後排出量	t-CO_2	31,590	30,642	31,566	32,344	33,206
その他ガス排出量合計	t-CO_2	207		91	526	140
自動車の台数	台	73		73	75	77
自動車からの排気ガス合計	t-CO_2	117				

２　基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023　年度～　2025　年度
報告対象年度	2025	年度		

３　計画書（報告書）の公表方法等

■	ホームページ	https://www.shinshu-u.ac.jp/environment/works/ordinance.html
□	印刷物の閲覧	
□	その他	

様式１号
（総括票）

４　温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

信州大学環境方針に基づき、以下の基本方針を推し進める。
１．環境に関する教育・研究活動を積極的に進めるとともに、その成果を国内外に発信する。
２．教育・研究、地域貢献、国際交流などを通じて、本学にふさわしい環境マインドを持った人材を育成する。
３．環境にかかわる法令を遵守するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境負荷の低減と環境保護・汚染の予防に努める。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2035	年度	削減目標	温室効果ガス総排出量 65%削減（2019年度比）
削減計画の概要	2030年度までに設置可能な建築物等の約50％以上に太陽光発電設備を設置することを目指す。 2030年度までに新築建築物の平均でZEB Ready相当となることを目指す。 2030年度までに学用車を全て電動車とする（代替可能な電動車がない場合を除く）。 2030年度までにLED照明の導入割合を100%とする。 2030年度までに調達する電力の60％以上を再生可能エネルギー電力とすることを目指す。					
イニシアチブ参画状況	□ SBT	□ RE100	□ 再エネ100宣言 RE Action	□ その他		

５の１　温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

（別紙1参照）
　本学における「環境マインドを持った人材の育成」及び「エコキャンパスの発展を通じて自主的な環境保全・改善活動の推進」に寄与するため「信州大学環境マインド推進センター」が設置されている。
　主要5キャンパスでは、それぞれ環境委員会を設置しており、その組織の中に省エネルギーに関する部会を設置し、省エネルギーに取り組んでいる。
　国立大学法人信州大学地球温暖化防止実行計画の推進は信州大学環境マインド推進センターを核とし、各キャンパスの環境委員会等と連携し、全学教職員・学生により地球温暖化対策の推進に当たる。推進実施責任者はグリーン社会協創担当理事とする。

５の２　温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

環境委員会（年4回程度）等

様式１号
（総括票）

６の１　エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	31,590	t-CO_2	延べ床面積	4,362.29	単位	百㎡
2022　年度	調整後排出量	31,590	t-CO_2	基準原単位	7.24	t-CO_2/ 百㎡	
目標年度	目標排出量（調整後排出量）	30,642	t-CO_2	目標原単位	7.02	t-CO_2/ 百㎡	
2025　年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2013年度以降の傾向をふまえ、排出量・原単位ともに年平均1%削減を目標とする。						
第一年度	排出量	31,566	t-CO_2	延べ床面積	4,356.00	単位	百㎡
	削減率	0.07	%	原単位	7.25	t-CO_2/ 百㎡	
2023　年度	調整後排出量	31,566	t-CO_2	原単位削減率	-0.14	%	
	削減率	0.07	%				
排出量等の増減理由	2023年度の夏季の気温が平年より高かったため空調等による電気およびガスの消費量が増加したことに加え、充分な換気、少人数での複数室の利用などの感染症対策をとっての施設利用が増加したこと、並びに原単位指標である延べ床面積の減少も影響し排出量・原単位ともに年1%の削減に至らなかったものと考えられる。						
第二年度	排出量	32,344	t-CO_2	延べ床面積	4,392.38	単位	百㎡
	削減率	-2.39	%	原単位	7.36	t-CO_2/ 百㎡	
2024　年度	調整後排出量	32,344	t-CO_2	原単位削減率	-1.66	%	
	削減率	-2.39	%				
排出量等の増減理由	講義室・研究室等の環境改善を目的に暖房設備を冷暖房設備に更新する部屋や空調設備を新設する部屋があったこと、また、2024年度の夏季の気温が平年および基準年より高く、空調等による電気およびガスの消費量が増加したことが影響し、排出量・原単位ともに年1%の削減に至らなかったものと考えられる。						
第三年度	排出量	33,206	t-CO_2	延べ床面積	4,390.17	単位	百㎡
	削減率	-5.12	%	原単位	7.56	t-CO_2/ 百㎡	
2025　年度	調整後排出量	33,206	t-CO_2	原単位削減率	-4.42	%	
	削減率	-5.12	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	2025年度の夏季の気温が平年および基準年より高く、空調等による電気およびガスの消費量が増加したことが影響し、排出量・原単位ともに年1%の削減に至らなかったものと考えられる。						

様式１号
（総括票）

６の２エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基　準　年　度	基準排出量	207	$t-CO_2$			単位	
2022　年度	調整後排出量		$t-CO_2$	基準原単位		$t-CO_2/$	
目　標　年　度	目標排出量		$t-CO_2$	目標原単位		$t-CO_2/$	
2025　年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	91	$t-CO_2$			単位	
	削減率	55.95	%	原単位		$t-CO_2/$	
2023　年度	調整後排出量		$t-CO_2$	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	526	$t-CO_2$			単位	
	削減率	-154.54	%	原単位		$t-CO_2/$	
2024　年度	調整後排出量		$t-CO_2$	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	140	$t-CO_2$			単位	
	削減率	32.20	%	原単位		$t-CO_2/$	
2025　年度	調整後排出量		$t-CO_2$	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式１号
（総括票）

６の３　自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	117	t-CO_2			単位	
2022　年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO_2/	
目標年度	目標排出量		t-CO_2	目標原単位		t-CO_2/	
2025　年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO_2			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO_2/	
2023　年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO_2			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO_2/	
2024　年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO_2			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO_2/	
2025　年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

７　重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式１号
（総括票）

８　排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量（t-CO_2）	実施年度	推計削減量（t-CO_2）
1	エネ起	照明設備	照明設備の運用管理・LED照明への更新	2023～2025	119	2023～2025	158.57
2	エネ起	昇降機・建物	窓の断熱性，気密性	2023～2025		2023～2025	
3	エネ起	一般管理事項	人材育成及び省エネルギー教育	2023～2025		2023～2025	
4	エネ起	一般管理事項	日常点検・定期点検	2023～2025		2023～2025	
5	エネ起	熱源設備	熱源機器の台数制御	2023～2025		2023～2025	
6	エネ起	空調機	設定温度，湿度の適正化	2023～2025		2023～2025	
7	エネ起	一般管理事項	エネルギー消費原単位の算出	2023～2025		2023～2025	
8							
9							
10							

９　再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	483	42	483	487	487
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

１０　再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年	0	0	0	0	0
FIT非化石証書 非FIT非化石証書（再エネ指定）	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0
Jークレジット	t-CO_2/年	0	0	0	0	0
県が認証したクレジット （森林CO_2吸収評価認証制度等）	t-CO_2/年	0	0	0	0	0
再生可能エネルギー電気 （自家消費、PPA、自己託送等）	千kWh/年	414	465	416	397	417
再生可能エネルギー電気 （小売電気事業者からの買電）	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0

様式１号
（総括票）

１１　県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

（所、t-CO_2）

工場等の規模（原油換算エネルギー使用量）	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上	1	22,541	1	22,850	1	23,500	1	24,282
1,500kl以上 3,000kl未満	1	3,937	1	3,598	1	3,725	1	3,640
1,500kl未満	19	5,112	19	5,117	19	5,119	19	5,284
合計	21	31,590	21	31,566	21	32,344	21	33,206

１２　県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

（t-CO_2）

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源CO_2	0	0	0	0
CH_4	0	0	0	0
N_2O	0	0	0	0
HFC	207	91	526	140
PFC	0	0	0	0
SF_6	0	0	0	0
NF_3	0	0	0	0
合計	207	91	526	140

１３　次世代自動車の導入状況

（台）

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	2	2	2	2
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他（ハイブリッド等）	24	24	24	25
合計	26	26	26	27
自動車総数	73	73	75	77
次世代自動車導入割合	35.6	35.6	34.7	35.1

様式１号
（総括票）

１４　交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	病院敷地内にバス停を設置している。(松本キャンパス) 長野駅から所在地までの案内図と、バス、徒歩の交通アクセスを掲示している。(長野(工学)キャンパス)
自転車の利用促進	自転車用駐輪場を設け、自転車による来学を促進している。 松本キャンパス及び附属病院内にシェアサイクルステーションを設置している。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	公共交通機関を利用される方へ最寄りのバス停を案内している。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	職員が利用できる電気自動車用充電設備を1台設置している。
物流の合理化	キャンパス間の物流は、一括して配送している。

１５　環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		
		実施内容		実施年度
□	SDGs	長野県SDGｓ登録制度へ登録している		
□	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD） 支持を表明している		
■	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2017年度～
		名称	ISO14001に準拠した独自の環境マネジメントシステム	
□	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
■	ZEB	ZEB Ready	の認証を取得している	2025年度～
■	ディマンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している		2023年度～
■	その他	国立大学法人信州大学地球温暖化防止実行計画(第4期)の策定		2024年度～

１６　自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

教職員・学生を対象に、省エネ・ごみ分別等(EMS)の環境教育訓練を実施している。
クールビス・ウォームビズを実行している。
環境内部監査を実施し、省エネの巡視をしている。
学生を対象に、環境問題に関する教養科目を複数開講している。
学部生を対象に、特別教育プログラムである「環境マインド実践人材養成コース」を開講し、SDGsや持続可能な循環共生型の社会構築を意識して課題解決できる人材の育成を行っている。
信州大学における環境問題や防災減災に資する研究・教育を束ね、安全・安心な地域づくり及び持続可能な社会の実現に寄与することを目的に、グリーン社会協創機構を発足した。

9　再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況（内訳）

No.	設置場所の名称等	再生可能 エネルギー源(種類)	設備の 利用形態	設置場所	設備容量					
					単位	基準年度	導入計画 (追加分)	第一年度	第二年度	第三年度
1	松本附属小学校	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	20	0	20	20	20
2	松本附属中学校	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	10	0	10	10	10
3	外来診療棟	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	20	0	20	20	20
4	中央図書館	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	50	0	50	50	50
5	包括先進医療棟	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	10	0	10	10	10
6	共通教育第1講義棟南校舎	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	3	0	3	3	3
7	若里総合研究棟	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	13	0	13	13	13
8	機械システム工学科棟	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	10	0	10	10	10
9	物質・機械学科棟	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	10	0	10	10	10
10	国際科学イノベーションセンター	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	300	0	300	300	300
11	OVIC	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	3	0	3	3	3
12	農学部B棟	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	3	0	3	3	3
13	長野小学校	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	11	0	11	11	11
14	長野中学校	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	20	0	20	20	20
15	ARG共創研究センター	太陽光発電（建物）	自家消費（売電なし）	事業所内	kW	0	42	0	4	4
16										
17										
18										
19										
20										

別紙１

2026 年４月１日現在

サステナブル社会協創機構　　機構長　グリーン社会協創担当理事（**温暖化対策責任者**・エネルギー管理統括者）

環境マインド推進センター

環境マインド推進センター長

【センター会議】

【センター職員】
環境施設部環境管理課長
（**温暖化計画書提出担当者**・エネルギー管理企画推進者）
環境施設部環境管理課環境マインドＧ主査
環境施設部環境管理課環境マインドＧ主査
（**温暖化対策担当者**・エネルギー管理員）
工学部兼務技術職員

地域防災減災センター

【松本キャンパス】
キャンパストップ
（グリーン社会協創担当理事）
環境管理責任者
事務局長：環境施設部長
（環境管理課所掌）
キャンパス環境委員会
第一種指定工場

【長野（教育）キャンパス】
キャンパストップ（教育学部長）
環境管理責任者
キャンパス環境委員会

【長野（工学）キャンパス】
キャンパストップ(工学部長)
環境管理責任者
管理係職員（**温暖化対策担当者**）
キャンパス環境委員会
第二種指定工場

【上田キャンパス】
キャンパストップ(繊維学部長)
環境管理責任者
キャンパス環境委員会

【伊那キャンパス】
キャンパストップ(農学部長)
環境管理責任者
キャンパス環境委員会

様式１号
（個別票）

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

１　県内の工場等の概要

工場等の名称	信州大学松本キャンパス					
工場等の所在地	長野県松本市旭3-1-1					
主たる事業の分類	大分類	O 教育、学習支援業				
	中分類	８１ 学校教育				
事業の概要	教育、研究、病院診療					
工場等の種類	教育施設			延べ床面積	243,386	m^2
所有状況	オーナー			使用範囲	全て使用	

		基準年度	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	11,239	10,902	11,383	11,721	12,091
ｴﾈﾙｷﾞｰ起源二酸化炭素排出量	t-CO_2	22,541		22,850	23,500	24,282
調整後排出量	t-CO_2	22,541	21,865	22,850	23,500	24,282
その他ガス排出量合計	t-CO_2	110				

２　温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

信州大学松本キャンパス環境方針に基づき、以下の基本方針を推し進める。
１．環境に関する教育・研究活動を積極的に進めるとともに、その成果を国内外に発信する。
２．教育・研究、地域貢献、国際交流などを通じて、本学にふさわしい環境マインドを持った人材を育成する。
３．環境にかかわる法令を遵守するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境負荷の低減と環境保護・汚染の予防に努める。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2035 年度	削減目標	温室効果ガス総排出量 65%削減（2019年度比）
削減計画の概要	2030年度までに設置可能な建築物等の約50%以上に太陽光発電設備を設置することを目指す。 2030年度までに新築建築物の平均でZEB Ready相当となることを目指す。 2030年度までに学用車を全て電動車とする（代替可能な電動車がない場合を除く）。 2030年度までにLED照明の導入割合を100%とする。 2030年度までに調達する電力の60%以上を再生可能エネルギー電力とすることを目指す。				
イニシアチブ参画状況	□ SBT	□ RE100	□ 再エネ100宣言 RE Action	□ その他	

３　温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

（別紙2参照）
信州大学松本キャンパス環境管理組織を設置し、環境マネジメントシステムの実施運用を行っている。組織内に、資源・エネルギー・ごみ部会を設置し、省エネルギーに取り組んでいる。
国立大学法人信州大学地球温暖化防止実行計画の推進は信州大学環境マインド推進センターを核とし、各キャンパスの環境委員会等と連携し、全学教職員・学生により地球温暖化対策の推進に当たる。

様式１号
（個別票）

県内の工場等： 信州大学松本キャンパス

４の１　エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	22,541	t-CO_2	延べ床面積	2,393.54	単位	百㎡
2022 年度	調整後排出量	22,541	t-CO_2	基準原単位	9.42	t-CO_2/ 百㎡	
目標年度	目標排出量（調整後排出量）	21,865	t-CO_2	目標原単位	9.14	t-CO_2/ 百㎡	
2025 年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2013年度以降の傾向をふまえ、排出量・原単位ともに年平均1%削減を目標とする。						
第一年度	排出量	22,850	t-CO_2	延べ床面積	2,397.43	単位	百㎡
	削減率	-1.38	%	原単位	9.53	t-CO_2/ 百㎡	
2023 年度	調整後排出量	22,850	t-CO_2	原単位削減率	-1.17	%	
	削減率	-1.38	%				
排出量等の増減理由	2023年度の夏季の気温が平年より高かったため、空調等による電気およびガスの消費量が増加したことに加え、充分な換気、少人数での複数室の利用などの感染症対策をとっての施設利用が増加したことにより、エネルギー起源二酸化炭素排出量・原単位の1%削減には至らなかったと考えられる。						
第二年度	排出量	23,500	t-CO_2	延べ床面積	2,433.81	単位	百㎡
	削減率	-4.26	%	原単位	9.66	t-CO_2/ 百㎡	
2024 年度	調整後排出量	23,500	t-CO_2	原単位削減率	-2.55	%	
	削減率	-4.26	%				
排出量等の増減理由	講義室・研究室等の環境改善を目的に暖房設備を冷暖房設備に更新する部屋や空調設備を新設する部屋があったこと、また、2024年度の夏季の気温が平年および基準年より高く、空調等による電気およびガスの消費量が増加したことが影響し、排出量・原単位ともに年1%の削減に至らなかったものと考えられる。						
第三年度	排出量	24,282	t-CO_2	延べ床面積	2,433.86	単位	百㎡
	削減率	-7.73	%	原単位	9.98	t-CO_2/ 百㎡	
2025 年度	調整後排出量	24,282	t-CO_2	原単位削減率	-5.95	%	
	削減率	-7.73	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	2025年度の夏季の気温が平年および基準年より高く、空調等による電気およびガスの消費量が増加したことが影響し、排出量・原単位ともに年1%の削減に至らなかったものと考えられる。						

様式１号
（個別票）　　県内の工場等： 信州大学松本キャンパス

４の２　エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	110	t-CO_2			単位	
年度	調整後排出量		t-CO_2	基準原単位		t-CO_2/	
目標年度	目標排出量		t-CO_2	目標原単位		t-CO_2/	
年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO_2			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO_2/	
年度	調整後排出量		t-CO_2	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO_2			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO_2/	
年度	調整後排出量		t-CO_2	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO_2			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO_2/	
年度	調整後排出量		t-CO_2	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式１号
（個別票）

県内の工場等：信州大学松本キャンパス

5　排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量（t-CO_2）	実施年度	推計削減量（t-CO_2）
1	エネ起	照明設備	照明設備の運用管理・LED照明への更新	2023～2025	119	2023～2025	139.31
2	エネ起	昇降機・建物	窓の断熱性，気密性	2023～2025		2023～2025	
3	エネ起	一般管理事項	人材育成及び省エネルギー教育	2023～2025		2023～2025	
4	エネ起	一般管理事項	日常点検・定期点検	2023～2025		2023～2025	
5	エネ起	熱源設備	熱源機器の台数制御	2023～2025		2023～2025	
6	エネ起	空調機	設定温度，湿度の適正化	2023～2025		2023～2025	
7	エネ起	一般管理事項	エネルギー消費原単位の算出	2023～2025		2023～2025	
8							
9							
10							

6　エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績　（t-CO_2）

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源CO_2				
CH_4				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF_6				
NF_3				
合計	110			

7　再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	KW	113	42	113	117	117

8　再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年	0	0	0	0	0
FIT非化石証書 非FIT非化石証書（再エネ指定）	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0
Jークレジット	t-CO_2/年	0	0	0	0	0
県が認証したクレジット （森林CO_2吸収評価認証制度等）	t-CO_2/年	0	0	0	0	0
再生可能エネルギー電気 （自家消費、PPA、自己託送等）	千kWh/年	126	177	119	124	125
再生可能エネルギー電気 （小売電気事業者からの買電）	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0

様式１号
（個別票）

県内の工場等： 信州大学松本キャンパス

９　重点対策の実施状況

対象	分類	段階	対策名	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
規則第４条第２項第１号該当事業者	エネルギー使用量の削減	Ⅰ	運転管理、計測記録、保守・点検のルールの設定	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
		Ⅱ	管理実態の把握	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
			エネルギー使用実態の把握	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
		Ⅲ	設備更新計画の策定	一部実施	第三年度	一部実施	一部実施	実施済	
		Ⅳ	設備更新の実施	実施済	第三年度	一部実施	一部実施	実施済	
		使用設備		■ 照明設備 ■ ボイラー ■ ポンプ ■ 空調機 □ 工業炉 ■ ファン・ブロア ■ 熱源設備 □ コンプレッサ ■ 発電設備					
	非化石転換	Ⅲ	非化石エネルギーへの転換に係る計画の策定	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
		Ⅳ	非化石エネルギーへの転換の実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
規則第４条第２項第２号該当事業者	－	Ⅰ Ⅱ	HFC、PFC、SF_6封入機器の管理						
			HFC、PFC、SF_6使用量の把握						
		Ⅲ	代替方策の検討						
			ノンフロン機器への転換検討						
			SF_6の転換検討						
		Ⅳ	漏えい個所対策の実施						
			除害装置（ガス回収装置）の設置						
			代替方策の実施						
			ノンフロン機器への転換実施						
			SF_6の転換実施						

様式１号
（個別票）

県内の工場等： 信州大学松本キャンパス

１０　交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	病院敷地内にバス停を設置している。
自転車の利用促進	自転車用駐輪場を設け、自転車による来学を促進している。 キャンパス及び附属病院内にシェアサイクルステーションを設置している。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	公共交通機関を利用される方へ各路線最寄りのバス停を案内している。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	職員が利用できる電気自動車用充電設備を1台設置している。
物流の合理化	キャンパス間の物流は、一括して配送している。

１１　環境配慮活動状況

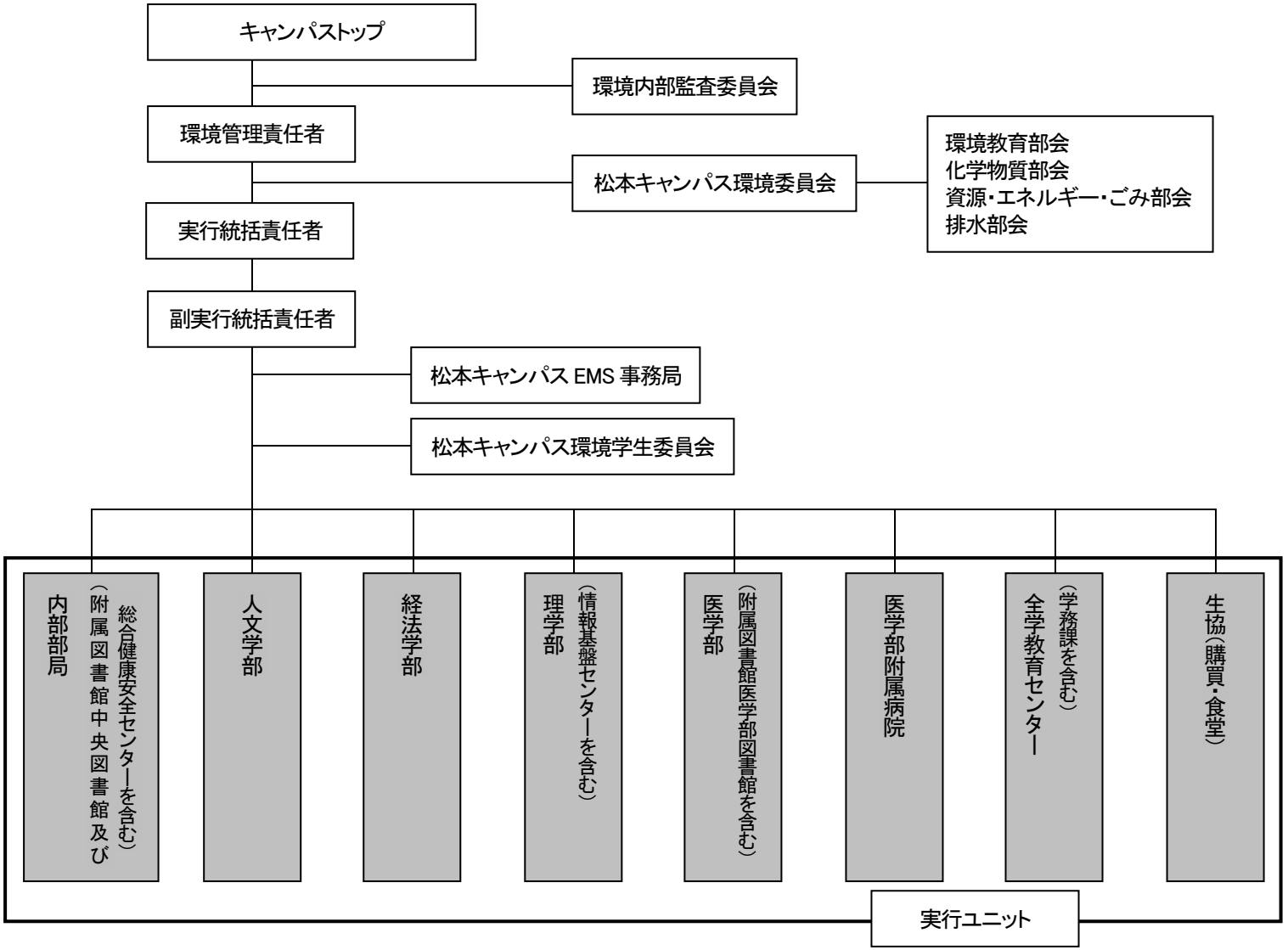
環境配慮活動		活動内容の詳細		
		実施内容		実施年度
□	SDGs	長野県SDGｓ登録制度へ登録している		
□	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD） 支持を表明している		
■	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2017年度～
		名称	ISO14001に準拠した独自の環境マネジメントシステム	
□	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
■	ZEB	ZEB Ready	の認証を取得している	2025年度～
■	DR（ディマンド・リスポンス）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している		2023年度～
■	その他	国立大学法人信州大学地球温暖化防止実行計画(第4期)の策定		2024年度～

１２　自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

教職員・学生を対象に、省エネ・ごみ分別等(EMS)の環境教育訓練を実施している。
クールビス・ウォームビズを実行している。
環境内部監査を実施し、省エネの巡視をしている。
学生を対象に、環境問題に関する教養科目を複数開講している。

別紙２

信州大学松本キャンパス環境管理組織図



様式１号
（個別票）

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

１　県内の工場等の概要

工場等の名称	信州大学長野（工学）キャンパス					
工場等の所在地	長野県長野市若里4-17-1					
主たる事業の分類	大分類	Ｏ 教育、学習支援業				
	中分類	８１ 学校教育				
事業の概要	教育、研究					
工場等の種類	教育施設		延べ床面積	60,915	m^2	
所有状況	オーナー		使用範囲	全て使用		

		基準年度	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,983	1,924	1,815	1,876	1,836
ｴﾈﾙｷﾞｰ起源二酸化炭素排出量	t-CO_2	3,937		3,598	3,725	3,640
調整後排出量	t-CO_2	3,937	3,819	3,598	3,725	3,640
その他ガス排出量合計	t-CO_2	0				

２　温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

信州大学工学部環境方針に基づき、以下の基本方針を推し進める。
１．環境問題に精通した技術者を育成するために、実践的な環境教育を推進する。
２．環境新技術の研究開発を推進し、環境負荷低減・循環型社会の実現に寄与する。また、この研究成果を文書及びインターネットを用いて公表する。
３．環境マネジメントシステムを運用してエコキャンパスを発展させる。
４．地域や行政の環境保全・改善プログラム等に積極的に参画する。
５．キャンパス内のすべての環境側面に関係して適用可能な法的要求事項などを遵守する。

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2035	年度	削減目標	温室効果ガス総排出量 65%削減（2019年度比）
削減計画の概要	2030年度までに設置可能な建築物等の約50%以上に太陽光発電設備を設置することを目指す。 2030年度までに新築建築物の平均でZEB Ready相当となることを目指す。 2030年度までに学用車を全て電動車とする（代替可能な電動車がない場合を除く）。 2030年度までにLED照明の導入割合を100%とする。 2030年度までに調達する電力の60%以上を再生可能エネルギー電力とすることを目指す。					
イニシアチブ参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐ 再エネ100宣言 RE Action	☐ その他		

３　温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

（別紙3参照）
信州大学長野（工学）キャンパス環境管理組織を設置し、環境マネジメントシステムの実施運用を行っている。組織内に、省エネルギー部会を設置し、省エネルギーに取り組んでいる。
国立大学法人信州大学地球温暖化防止実行計画の推進は信州大学環境マインド推進センターを核とし、各キャンパスの環境委員会等と連携し、全学教職員・学生により地球温暖化対策の推進に当たる。

様式１号
（個別票）

県内の工場等： 信州大学長野（工学）キャンパス

４の１　エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,937	t-CO_2	延べ床面積	609.25	単位	百㎡
2022 年度	調整後排出量	3,937	t-CO_2	基準原単位	6.46	t-CO_2/ 百㎡	
目標年度	目標排出量（調整後排出量）	3,819	t-CO_2	目標原単位	6.27	t-CO_2/ 百㎡	
2025 年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2013年度以降の傾向をふまえ、排出量・原単位ともに年平均1%削減を目標とする。						
第一年度	排出量	3,598	t-CO_2	延べ床面積	609.25	単位	百㎡
	削減率	8.61	%	原単位	5.91	t-CO_2/ 百㎡	
2023 年度	調整後排出量	3,598	t-CO_2	原単位削減率	8.51	%	
	削減率	8.61	%				
排出量等の増減理由	環境マネジメントシステムの運用等によるキャンパス構成員の省エネ意識向上、「排出抑制目標達成のための具体的な措置」の実行のほか、2023年度の冬季の気温が平年より高かったため空調等による電気およびガスの消費量が減少したことにより、エネルギー起源二酸化炭素排出量の削減につながったと考えられる。						
第二年度	排出量	3,725	t-CO_2	延べ床面積	609.25	単位	百㎡
	削減率	5.38	%	原単位	6.11	t-CO_2/ 百㎡	
2024 年度	調整後排出量	3,725	t-CO_2	原単位削減率	5.41	%	
	削減率	5.38	%				
排出量等の増減理由	環境マネジメントシステムの運用等によるキャンパス構成員の省エネ意識向上、「排出抑制目標達成のための具体的な措置」の実行等により、エネルギー起源二酸化炭素排出量の削減につながったと考えられる。						
第三年度	排出量	3,640	t-CO_2	延べ床面積	609.15	単位	百㎡
	削減率	7.54	%	原単位	5.98	t-CO_2/ 百㎡	
2025 年度	調整後排出量	3,640	t-CO_2	原単位削減率	7.43	%	
	削減率	7.54	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	環境マネジメントシステムの運用等によるキャンパス構成員の省エネ意識向上、「排出抑制目標達成のための具体的な措置」の実行等により、エネルギー起源二酸化炭素排出量の削減につながったと考えられる。						

様式１号
（個別票）　　県内の工場等：信州大学長野（工学）キャンパス

４の２　エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	$t-CO_2$			単位	
年度	調整後排出量		$t-CO_2$	基準原単位		$t-CO_2/$	
目標年度	目標排出量		$t-CO_2$	目標原単位		$t-CO_2/$	
年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		$t-CO_2$			単位	
	削減率		%	原単位		$t-CO_2/$	
年度	調整後排出量		$t-CO_2$	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		$t-CO_2$			単位	
	削減率		%	原単位		$t-CO_2/$	
年度	調整後排出量		$t-CO_2$	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		$t-CO_2$			単位	
	削減率		%	原単位		$t-CO_2/$	
年度	調整後排出量		$t-CO_2$	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式１号
（個別票）

県内の工場等：信州大学長野（工学）キャンパス

5　排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量（t-CO_2）	実施年度	推計削減量（t-CO_2）
1	エネ起	照明設備	照明設備の運用管理・LED照明への更新	2023～2025		2023～2025	14.63
2	エネ起	昇降機・建物	窓の断熱性，気密性	2023～2025		2023～2025	
3	エネ起	一般管理事項	人材育成及び省エネルギー教育	2023～2025		2023～2025	
4	エネ起	一般管理事項	日常点検・定期点検	2023～2025		2023～2025	
5	エネ起	熱源設備	熱源機器の台数制御	2023～2025		2023～2025	
6	エネ起	空調機	設定温度，湿度の適正化	2023～2025		2023～2025	
7	エネ起	一般管理事項	エネルギー消費原単位の算出	2023～2025		2023～2025	
8							
9							
10							

6　エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績　（t-CO_2）

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源CO_2				
CH_4				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF_6				
NF_3				
合計	0			

7　再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	KW	333	0	333	333	333

8　再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年	0	0	0	0	0
FIT非化石証書 非FIT非化石証書（再エネ指定）	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0
Jークレジット	t-CO_2/年	0	0	0	0	0
県が認証したクレジット （森林CO_2吸収評価認証制度等）	t-CO_2/年	0	0	0	0	0
再生可能エネルギー電気 （自家消費、PPA、自己託送等）	千kWh/年	244	244	248	225	244
再生可能エネルギー電気 （小売電気事業者からの買電）	千kWh/年	0	0	0	0	0
うち県内産	千kWh/年	0	0	0	0	0

様式１号
（個別票）

県内の工場等： 信州大学長野（工学）キャンパス

９　重点対策の実施状況

対象	分類	段階	対策名	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
規則第４条第２項第１号該当事業者	エネルギー使用量の削減	Ⅰ	運転管理、計測記録、保守・点検のルールの設定	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
		Ⅱ	管理実態の把握	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
			エネルギー使用実態の把握	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
		Ⅲ	設備更新計画の策定	一部実施	第三年度	一部実施	一部実施	実施済	
		Ⅳ	設備更新の実施	実施済	第三年度	一部実施	一部実施	実施済	
		使用設備		■ 照明設備　□ ボイラー　■ ポンプ ■ 空調機　□ 工業炉　□ ファン・ブロア ■ 熱源設備　■ コンプレッサ　■ 発電設備					
	非化石転換	Ⅲ	非化石エネルギーへの転換に係る計画の策定	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
		Ⅳ	非化石エネルギーへの転換の実施	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	
規則第４条第２項第２号該当事業者	－	Ⅰ Ⅱ	HFC、PFC、SF_6封入機器の管理						
			HFC、PFC、SF_6使用量の把握						
		Ⅲ	代替方策の検討						
			ノンフロン機器への転換検討						
			SF_6の転換検討						
		Ⅳ	漏えい個所対策の実施						
			除害装置（ガス回収装置）の設置						
			代替方策の実施						
			ノンフロン機器への転換実施						
			SF_6の転換実施						

様式１号
（個別票）

県内の工場等：信州大学長野（工学）キャンパス

１０　交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	長野駅から所在地までの案内図と、バス、徒歩の交通アクセスを掲示している。
自転車の利用促進	自転車用駐輪場を設け、自転車による来学を促進している。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	公共交通機関を利用される方へ各路線最寄りのバス停を案内している。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	
物流の合理化	キャンパス間の物流は、一括して配送している。

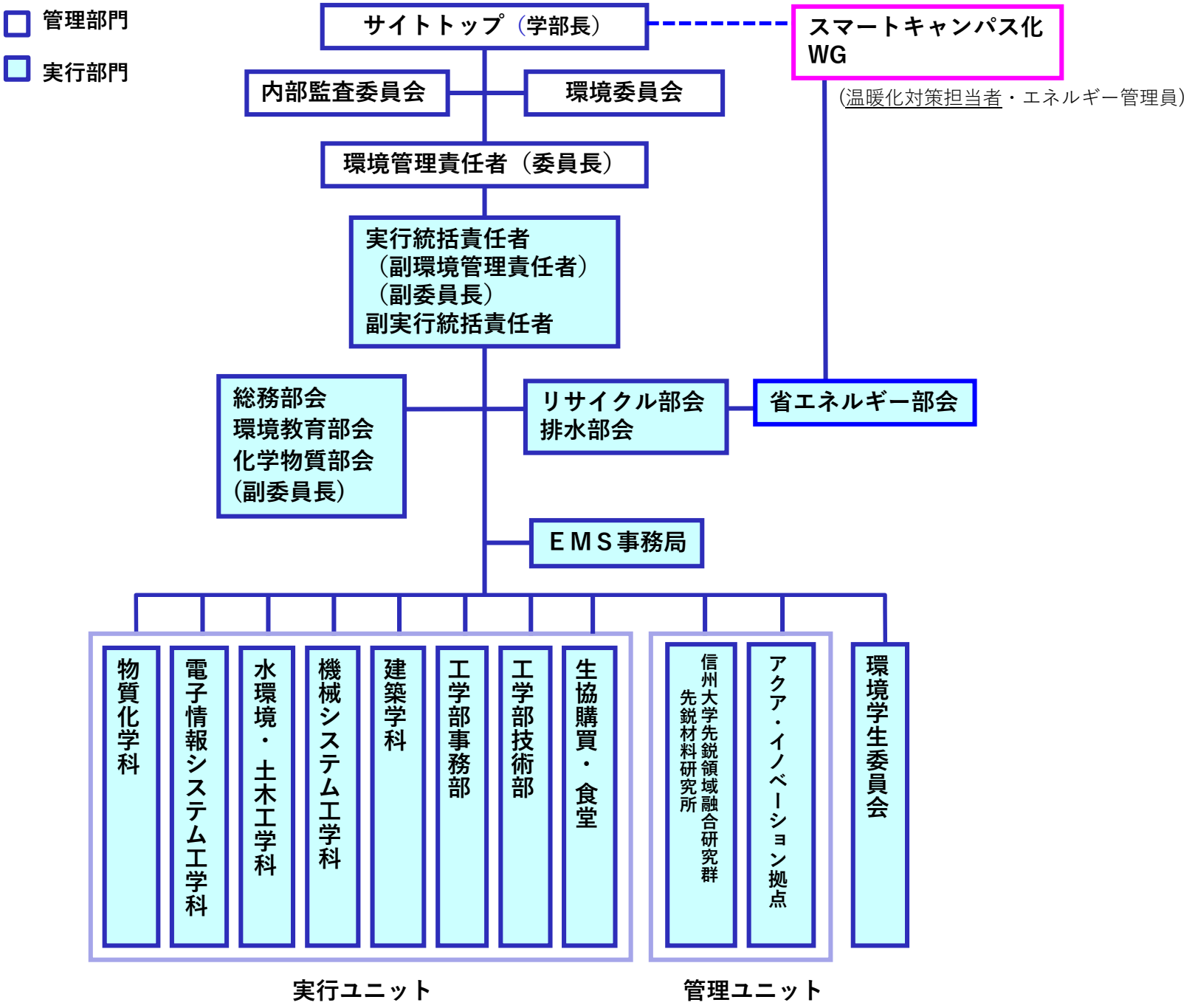
１１　環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		
		実施内容		実施年度
□	SDGs	長野県SDGｓ登録制度へ登録している		
□	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）　支持を表明している		
■	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2017年度～
		名称	ISO14001に準拠した独自の環境マネジメントシステム	
□	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している		
□	ZEB	の認証を取得している		
■	DR（ディマンド・リスポンス）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している		2023年度～
■	その他	国立大学法人信州大学地球温暖化防止実行計画(第4期)の策定		2024年度～

１２　自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

教職員・学生を対象に、省エネ・ごみ分別等(EMS)の環境教育訓練を実施している。
クールビス・ウォームビズを実行している。
環境内部監査を実施し、省エネの巡視をしている。
デマンド監視による節電、空調の運転抑制等を実施している。

別紙３


管理部門
実行部門
サイトトップ（学部長）
スマートキャンパス化WG
（温暖化対策担当者・エネルギー管理員）
内部監査委員会
環境委員会
環境管理責任者（委員長）
実行統括責任者
（副環境管理責任者）
（副委員長）
副実行統括責任者
総務部会
環境教育部会
化学物質部会
（副委員長）
リサイクル部会
排水部会
省エネルギー部会
ＥＭＳ事務局
物質化学科
電子情報システム工学科
水環境・土木工学科
機械システム工学科
建築学科
工学部事務部
工学部技術部
生協購買・食堂
信州大学先鋭領域融合研究群
先鋭材料研究所
アクア・イノベーション拠点
環境学生委員会
実行ユニット
管理ユニット